

Awara News

あわらニュース vol.54

平成27年5月1日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をとおして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、公立的で自立した病院経営を推進します。



満開の桜

小児科医長 大坂 陽子

今年のゴールデンウィークは北陸新幹線の効果により、東尋坊や恐竜博物館などの福井県の観光地の集客数が増えたようです。そういえばゴールデンウィーク期間中に勤務のため夜の芦原温泉街を通ることがありましたが、いつにも増してホテルや民宿の窓の明かりの数が多く、町全体が文字通り明るく感じられました。北陸の各観光地がこの流れを次にどうつなげるか、正念場です。

あわら病院も毎年きちんと花を咲かせる上の写真の桜の木々のように、患者さんのニーズに応えられる病院、地域に根差した病院としてあり続けるよう、努力していきます。

新しい出発 – 平成27年度を迎えて



院長
津谷 寛

今年も桜の開花とともに新年度を迎えることができました。あわら病院では医師、看護師、臨床心理士、放射線技師、言語聴覚士など多くのフレッシュな仲間を迎えることができ、職員一同、新たな気持ちでスタートを切りました。

昨年度は、難病・長寿医療など当院の専門医療の需要の拡大、全国的規模の臨床研究の主催、そして国立病院機構でのQC活動の表彰など大変貴重な経験をさせていただき、これも皆様の日頃からのご支持、ご協力のおかげであり改めて感謝いたします。

国立病院機構は発足して12年目を迎えますが、独立行政法人改革により今年度から国立病院機構は自主的・自律的な経営ができる中期目標行政法人に移行し、新たな時代を迎えます。あわら病院ではこのような組織の改正、加えて自分たちの成長や社会の変化に合わせて、より理想の医療サービスを追求するため、「地域密着」、「臨床研究」、「社会的アプローチ」、「公益性」などをキーワードとして10年ぶりに病院の使命(ミッション)を改変しました。

私たちはこれからも患者さまの生活の場がみえるところで、重症心身障がい(者)・難病医療・長寿医療を柱とした専門医療をしっかりと担えるように不断の努力を行ってまいりたいと考えております。職員一同、変わらぬ情熱をもって進み続けていきますので、よろしくごお願い申し上げます。



あわら病院発の全国的な臨床研究RICE-U

臨床研究コーディネーター 青池 淳子

あわら病院では国立病院機構の「EBM推進のための大規模臨床研究」の一つとしてRICE-Uという研究を現在実施中です。EBMとは科学的根拠に基づく医療(Evidence-Based Medicine)の略で、RICE-Uは「わが国における尿酸排泄動態に関する基準範囲の検討(Reference Interval for Clearance and Excretion of Uric Acid in Japan)」の略称です。当院の院長が計画したあわら病院発の研究で、福井県の名産品である米(rice)にかけて略称を作りました。

臨床検査では現在、定義で決められた健常者を選び出し、それらの人の中で求められた基準範囲というものがいわゆる正常値として用いられるようになってきています。しかし、尿の検査となるとなかなか検体を集めるのが難しく、基準範囲づくりは進んでいません。

RICE-U研究は痛風という病気のもとである尿酸の尿

への排泄に関する指標に対して、20～65歳の人を対象に男女別の基準範囲を設定しようという研究です。鹿児島から北海道まで全国25医療機関に参加いただき、昨年秋から実施しています。現在目標対象数990名のうち926人のボランティアの方に参加いただいております。

ただ、病院の職員を主な対象としていますので、60歳代の方の参加が極端に少なく、60～65歳のかたの参加を重点をお願いしているところです。「福井発の臨床研究には福井のU(あなた)のご協力が欠かせません」ご協力いただける方・興味がある方がおられましたら、是非、当院臨床研究部の青池までご連絡ください。(0776-79-1211(代))





地域医療連携施設のご紹介



あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

坂井医院

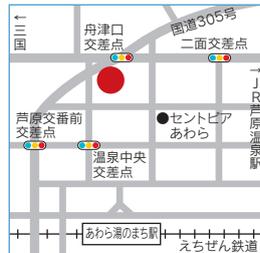


当医院は、昭和32年芦原大火の後、現在の北陸銀行芦原支店の地（現在は駐車場）に先代（故）坂井俊道が坂井医院を開業しました。昭和45年に現在の温泉5丁目に新築移転しました。

私は昭和59年より先代の死去にともない医院を継承しており、地域の皆様には半世紀以上に渡り親しまれています。私は内科全般を中心にプライマリーケア医として仕事をしています。入院施設や高度の医療検査機械はありませんので、あわら病院にお願いしたりしています。

また近隣の身体障害者の施設の嘱託医をしておりますので、あわら病院に専用の病床ができると聞き何かと心強く思っています。今後も病診連携を充実させていただけることを期待しています。

院長 坂井寿範



坂井医院

〒910-4104 あわら市温泉5-1811 TEL.0776-77-3060

診察時間	月	火	水	木	金	土	備考
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診日/日・祝
15:00~18:00	○	○	○	×	○	×	

活動報告会「診療報酬改定への対応～未来に輝く笑顔のために～」

5階病棟 奥山 幸恵

当院では、毎年1月に各部署が1年間に取り組んだ活動を発表しています。今回、活動報告会に於いて、5階病棟が最優秀賞を頂きました。病棟としても更なる発展に繋がりたいと考えています。報告会での合評内容を一部抜粋して紹介します。

平成26年度診療報酬改定は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、患者さんを地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築を図るために行われました。急性期を過ぎた患者さんが、退院に向けて生活環境を整えられるよう支援を行う地域包括ケア病棟が新設され、あわら病院5階病棟も、亜急性期病床から地域包括ケア病床に移行することとなりました。

あわら病院では、地域包括ケア病床の施設基準を満たすために、院長、副院長、内科医長他、様々な部署が協力し、私たち5階病棟では、勉強会を繰り返し行い、より適切

な『重症度、医療・看護必要度』の評価と記録に取り組みました。そして11月1日より地域包括ケア病床6床が稼働し始めました。1月1日より4床追加し、現在合計10床稼働しています。退院支援も順調に進んでいます。

今回の発表を通し、診療報酬改定や施設基準についてとても勉強になりました。また病院経営に参画していることを再認識しました。

5階病棟は、住み慣れた地域に患者さんが帰られるように、また帰る際の不安が軽減できるようこれからも退院支援を行っていきます。



外来担当医表

(平成27年5月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合	内科	津谷	鈴木	見附	(交替制)	向井
	小児科	大坂*	川満*	大坂*	大坂*	川満*
専門	血液・リウマチ			津谷/浦崎*	津谷	
	痛風				津谷*	
	生活習慣病			西坊(第1・3)		
	老年			桐場(第2・4・5)		栗田
	神経			林(第1・3・5)		
	循環器	見附	見附			
	外科	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤
	整形外科	青木				
	眼科				吉岡*	
	皮膚科		若原			若原
	地域ケア					桐場
禁煙外来	見附	見附				

●受付時間8:30~11:30 ●黄色枠は予約制 ●*印は午後診察 ●休日/土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00~11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30~11:30)です。

※専門内科の午後診察は、14:00~16:00です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30~11:30)・火曜日(10:00~12:30)です。

地域医療連携室だより

平成26年12月より勤務をしております新谷裕子です。

多くの病院・施設の皆さまとはすでにお電話を通しお話をさせていただいています。

地域医療連携室は病院窓口の一つであることをいつも意識し、責任ある対応に努めていきたいと考えています。また、当院の理念である「多くの人の笑顔のために」は、病気に向き合う患者さんと支えるご家族、またその方たちに寄り添う病院スタッフを目にしなが、大切にしていきたい言葉だと日々感じています。その病院に勤務する一員としてこれからも自分の役割がきちんと果たせるよう努力していきたいと思ひます。



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北湯238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉TEL.79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北湯花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通)[事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通)[事前予約が必要]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、またはホームページ(交通案内)をご覧ください。